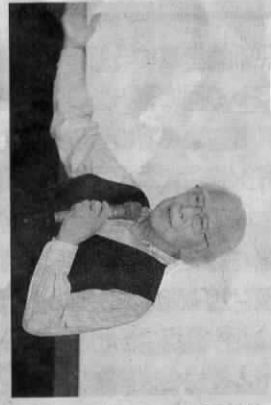


# 憲法理念実現へ 実践行動決める

総会と講演会

争はいやだ、平和を守るの会  
 地方有志でつくる  
 年度の事業と決算を報告し  
 憲法の理念実現に向けた新年  
 (山崎一会長は30日、講演  
 度の実践行動を決めた。講演  
 講演会を諏訪市小和田  
 は富士見町松自身の報道写  
 真家樋口健二さん(87)が原  
 総会福祉センター湯小路  
 き元気館で開いた。今

の悲劇」と題して問題を提起  
 した。  
 あいさつで山会長は「兵  
 器を輸出して稼ぐなど絶対に  
 許すことはできない」と政府  
 方針に憤り、「皆さんの力を



健康を危険にさらして働く労働者の実情を語った樋口健二さん

借りて憲法の理念実現のため  
 に引き続き頑張りたい」と述  
 で洗い流す姿など健康を危険  
 にさらして働く下請け労働の  
 実態を自身の写真で紹介し、  
 「原発の何が安全だ、クラー  
 ンエネギーだ。放射能を浴  
 びながら作業をして倒れたら  
 ポロ雑巾のように終わる。電  
 気を享受する皆さんも間接的  
 に人を犠牲にしているのだと  
 自覚を」と訴えた。  
 これらについて「国家や事  
 業者、マスコミは事実を国民  
 に伝えていない」「被害者の訴  
 えは握りつぶされている」と  
 写真で闘ってやる」と自身の  
 生命を語った。  
 (白比野真由美)

多くの人が公害に苦しむ  
 状況にカマを向けた駆  
 け出し時代を語り、原子  
 力発電所を巡っては「故  
 射線に被ばくした労働者  
 は1970〜2015年  
 の間に120万人に達し  
 た」と指摘。原発の事故  
 現場で手作業をする人だ

成長期の産業発展の陰で  
 人を犠牲にしているのだと  
 講演会で樋口さんは、高度

定する。  
 平和関連の施設見などを予  
 さない統一署名の活動憲法  
 集会への参加県内の戦跡や  
 講演会を樋口さんは、高度